

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 7 月 19 日 (2012.7.19)

【公表番号】特表 2012-512757 (P2012-512757A)
 【公表日】平成 24 年 6 月 7 日 (2012.6.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-022
 【出願番号】特願 2011-542526 (P2011-542526)
 【国際特許分類】

B 2 4 B 27/06 (2006.01)

C 0 9 K 3/14 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B 27/06 D

C 0 9 K 3/14 5 5 0 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 5 月 9 日 (2012.5.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

基材を、ワイヤーソーを用いてスライスするための組成物であって、
 (i) 液体担体であって、該液体担体の質量を基準として、少なくとも 50 質量 % の水および 0.1 質量 % ~ 20 質量 % のポリオールを含む液体担体、
 (i i) 該液体担体中に懸濁された 30 質量 % ~ 60 質量 % の研磨材、および
 (i i i) 0.2 質量 % ~ 10 質量 % の増粘剤、
 を含んでなる組成物。

【請求項 2】

前記ポリオールが、グリセロール、ポリエチレングリコール、1,6-ヘキサングリコール、ペンタエリスライト、またはそれらの組み合わせからなる群から選ばれる、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記ポリオールが、少なくとも 2.5 : 1 の炭素原子と酸素原子の比を有している、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

前記組成物が、更に酸化剤を含んでいる、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】

前記増粘剤が、非イオン性ポリマーである、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】

前記研磨材が、炭化ケイ素、シリカ、アルミナおよびそれらの組み合わせからなる群から選ばれる、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 7】

前記組成物が、更に塩化カルシウム、硫酸アンモニウム、硝酸アルミニウム、またはそれらの組み合わせを含む、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 8】

基材を、ワイヤーソーを用いてスライスするための組成物であって、
 (i) 少なくとも 50 質量 % の水および、一価のアルコールまたは塩から選ばれる少なく

とも 1 種の添加剤を含む液体担体であって、該一価のアルコールは該液体担体中に 0 . 1 質量 % ~ 2 0 質量 % で存在し、該塩は、塩化カルシウム、硫酸アンモニウム、硝酸アルミニウムおよびそれらの組み合わせからなる群から選ばれる、液体担体、および
(i i) 該液体担体中に懸濁された 3 0 質量 % ~ 6 0 質量 % の研磨材、
を含んでなる組成物。

【請求項 9】

前記一価のアルコールが、4 個もしくは 5 個以上の炭素の炭素鎖を有している、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 10】

前記 4 個もしくは 5 個以上の炭素の炭素鎖を有する一価のアルコールが、1 - ヘキサノール、1 - オクタノール、2 - エチルヘキサノールまたは 2 - ブチル - 1 - オクタノールである、請求項 9 記載の組成物。

【請求項 11】

前記一価のアルコールが、少なくとも 2 . 5 : 1 の炭素原子と酸素原子の比を有している、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 12】

前記組成物が、更に酸化剤を含んでいる、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 13】

前記研磨材が、炭化ケイ素、シリカ、アルミナおよびそれらの組み合わせからなる群から選ばれる、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 14】

前記組成物が、更に増粘剤を含む、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 15】

前記増粘剤が、非イオン性ポリマーである、請求項 14 記載の組成物。

【請求項 16】

基材をスライスする方法であって、

- (i) 該基材を、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項記載の組成物と接触させる工程、
- (i i) 該基材と該組成物を、ワイヤーソーと接触させる工程、ならびに
- (i i i) 該ワイヤーソーを、これを該組成物と接触させて、該基材に対して動かして、該基材の少なくとも一部を研削して、該基材をスライスする工程、
を含んでなる、方法。